

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(GDP(IMF WEO):<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/GDP.html>)

(MENA・イスラム圏:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MenaOicCountries.html>)

マイライブラリー:0391

(注)本稿は 2016 年 10 月 24 日から 28 日まで 5 回に分けて「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2016.10.29

前田 高行

世界主要国とMENAの GDP 成長率 ・ 一人当たり GDP(IMF 2016 年 10 月版)

<u>目次</u>	<u>頁</u>
1. 2016/17 年の経済成長率	1
2. 前回(2016 年 4 月)と今回(2016 年 10 月)の比較	2
3. 2016年の各国の名目 GDP	3
4. 2016年の一人当たり GDP	4
5. 世界および主要地域・国の GDP 成長率の推移(2013~2017年)	5

IMF(国際通貨基金)では毎年 4 月および 10 月に世界各国の経済見通し「World Economic Outlook Database (WEO)」を発表しており、今年 10 月版(以下 WEO2016Oct)がインターネット上に公開された。

* URL: <https://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2016/02/weodata/index.aspx>

この中には GDP 成長率、ドル建て・各国通貨建ての GDP 金額、一人当たり GDP、貿易額、財政収支など数多くのデータがあり、特に当年度或いは次年度の経済成長率は官庁、メディア等々で広く引用されている。

ここでは 2013 年から 2017 年までの GDP 総額及び一人当たり GDP(いずれも current price, ドル建て)を取り上げ、また成長率については前回の 2016 年 4 月版(以下 WEO2016Apr)と比較して世界主要国およびMENA諸国の経済状況の変化を検証する。

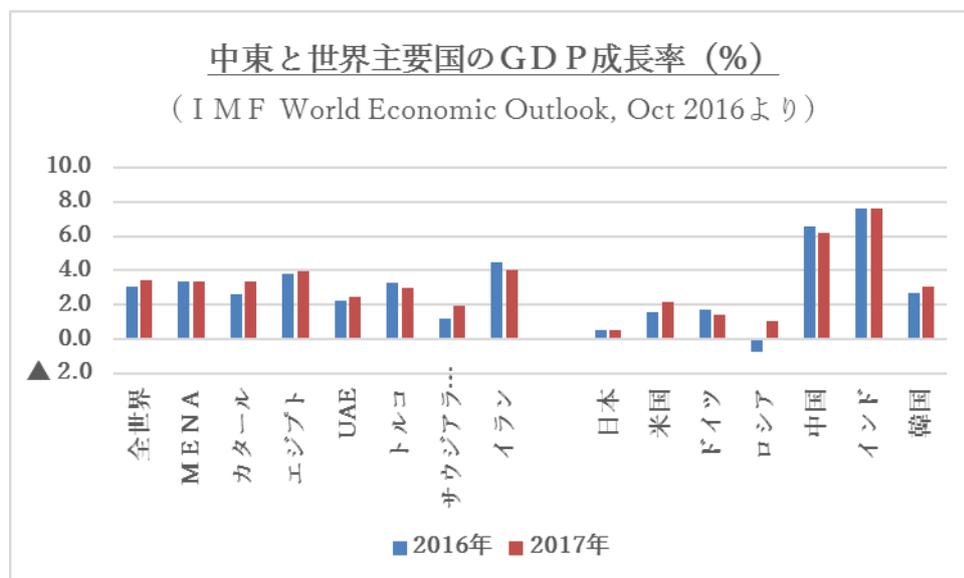
(世界平均を上回る MENA の成長率！)

1. 2016/17 年の経済成長率 (末尾表 B-2-08 参照)

(1) 世界および主要地域・国の経済成長率

IMF は今年(2016 年)の世界の経済成長率を 3.1%と見ており、来年(2017 年)は今年よりも高い 3.4%と予測している。地域別に見ると ASEAN5 か国は 4.8%から 5.1%へと上向き見通しを示しており、EU は今年の 1.9%から来年は 1.7%に低下する見通しである。国別に見ると今年より来年の

成長率が高い国と低い国が混在しており、日本は0.5%→0.6%とわずかながら上向く予想で、米国は1.6%→2.2%、韓国も2.7%→3.0%にアップする見込みである。



中国は今年の6.6%が来年は6.2%に低下すると見込まれ、同国の成長率の減速傾向に歯止めがかからない状況である。またドイツも今年の成長率1.7%が来年は1.4%に落ちると予測され、EUの景気回復の遅れが見受けられる。なおロシアは今年マイナス成長になる見込みであるが、来年についてはプラス成長を予測している。

(2) MENA 諸国の経済成長率

IMFによればMENA(中東北アフリカ地域)の成長率は今年も来年も3.4%と見込まれており、今年の成長率は世界平均の3.1%を上回っている。国別にみるとリビアがマイナス3.3%(16年)からプラス13.7%(17年)と大幅な上昇を予測しており、イエメンもマイナス4.2%からプラス12.6%と見込まれている。但し両国とも現在内戦状態で経済が深刻な状況である。IMFはこのような状況が変化すると見込んでいるようであるが、改善はかなり難しいであろう。

MENAの大国であるトルコ、イランおよびエジプトの今年・来年の成長率はトルコが3.3%→3.0%、イランは4.5%→4.1%、エジプトは3.8%→4.0%でありエジプトはわずかながらも好転すると予測されているが、トルコとイランは成長率が落ち込む見通しである。産油国のサウジアラビアは今年の1.2%から来年は2.0%に回復すると見込まれ、GCC6か国の平均でも今年の2.1%が来年は2.5%に上向く見通しである。歳入のほとんどを石油・天然ガスに依存しているGCC諸国は一昨年以降の価格急落により成長率が急速に落ち込んだが、IMFではGCC諸国が今年から来年にかけては低成長ながらも上向くと予測している。

(前回より下方修正された今年と来年の成長率！)

2. 前回(2016年4月)と今回(2016年10月)の比較

(2) 世界および主要地域・国

上述のとおり今回(WEO2016Oct)の全世界の成長率見通しは今年(2016年)が3.1%であり、来年(2017年)は3.4%である。これに対して前回(WEO2014Apr)の見通しでは2016年が3.2%、2017年は3.5%であり、いずれも前回よりわずかながら0.1%下方修正されている。つまり2016年から2017年にかけて成長が高まるとの見通しに変わりはないが、加速の度合いが鈍っている。IMFは世界経済の回復が遅れると予測しているようである。

今年の見通しについて国・地域毎に見ると、米国以外の地域・国は前回よりわずかながらも上方修正されている。例えばEUは1.5%→1.9%と0.4%上方修正されており、ドイツも1.5%→1.7%に修正されている。中国、韓国及びASEAN-5は+0.1%、インドは+0.2%である。これに対して米国の今年の成長率は前回の2.4%から今回は1.6%に下がっている。日本は前回の据え置き(+0.5%)である。

2017年の成長率はアップした国とダウンした国・地域がほぼ半々である。成長率を上方修正した国・地域の中では日本が-0.1%→+0.6%とプラス成長に見直されている。またロシア、韓国、インドもそれぞれ+0.3%、+0.2%、+0.1%と上方修正されている。中国の2017年成長率は6.2%で前回4月と変わらない。一方米国は2.5%(4月見通し)→2.2%(今回10月見通し)と下方修正されており、ドイツも+1.6%→+1.4%と成長率は下がる見通しである。とは言え米国の場合は日本、EU、ドイツと比べ成長率が高いことは特筆に値する。

(2) MENA 諸国

MENA地域の成長率は2016年が前回の3.1%から3.4%に、また2017年は3.5%から3.4%に改訂されており、今年も上方修正し、来年はそれを維持すると予測している。ところがGCC6カ国については今年も2.2%→2.1%、来年は2.4%→2.5%であり、今年も落ち込み来年は回復すると見込んでいる。

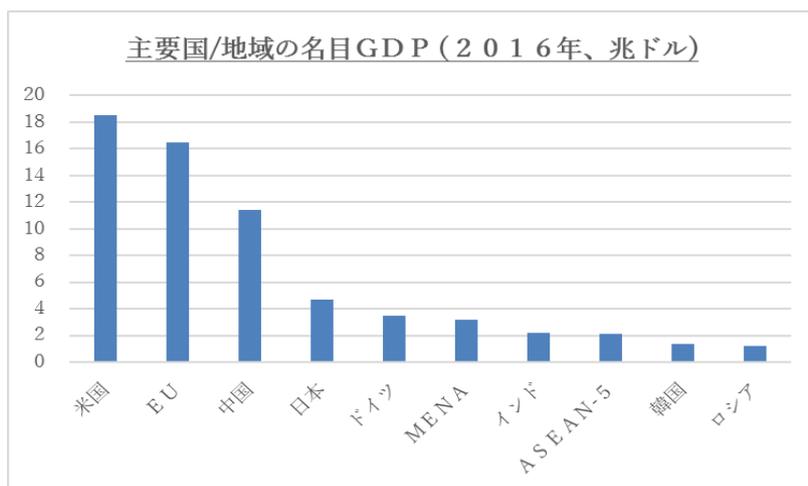
国別で見ると18か国のうち今年の成長率を上方修正または現状維持とした国は6か国であり、残る12か国は下方修正している。大きく上方修正された国はエジプト(3.3%→3.8%)とイラク(7.2%→10.3%)であり、一方大幅に下方修正されたのはイエメン(+0.7%→-4.2%)、リビア(-2.0%→-3.3%)である。

来年の成長率見通しについては上方修正または現状維持とした国は8か国であり、下方修正した国は10か国とほぼ均衡している。上方修正された主な国はリビア、オマーン、モロッコ、イエメンなどであり、一方下方修正されたのはイラク、トルコなどである。

(米国のGDPは全世界の4分の1！)

3. 2016年の各国の名目GDP(末尾表1-B-2-09参照)

IMFでは今年の世界の名目GDP(at Current Price)総額を75兆ドルと推定している。地域別ではEUが17兆ドル、全体の22%を占めている。またASEAN5か国は2.1兆ドル(全体の2.9%)、MENA地域は3.2兆ドル(同4.2%)である。



国別では米国が世界トップの19兆ドルで全世界に占める割合は25%、同国一国だけで世界のGDPの4分の1を生み出している。米国に次ぐGDP大国は中国の11兆ドルであり世界全体の15%を占めている。この2か国が世界でも突出している。第3位は日本(4.7兆ドル)であるが、米国の4分の1あるいは中国の4割にとどまっている。

EUの経済大国ドイツのGDPは3.5兆ドルであり、EU全体の5分の1を占めている。その他の主な国を見るとインドは2.2兆ドル、韓国1.4兆ドル、ロシア1.3兆ドルなどである。

MENA17カ国(エジプト、シリアを除く)の中で2016年の名目GDPが最も大きい国はトルコの7,360億ドルであり、サウジアラビアが6,380億ドルが続いている。この2カ国がMENAの合計GDPに占める比率はそれぞれ21%と18%であり、両国はMENA諸国の中では突出している。第3位はイランの4,120億ドル、第4位UAE(3,750億ドル)はいずれもトルコ或いはサウジアラビアの半分強にとどまっている。

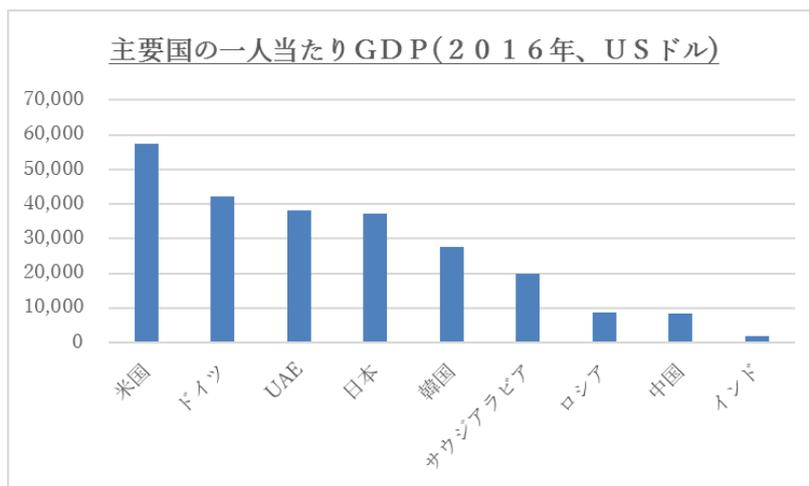
5位以下11位まではイスラエル(3,120億ドル)、アルジェリア(1,780億ドル)、カタール(1,570億ドル)、イラク(1,560億ドル)、クウェイト(1,100億ドル)、モロッコ(1,050億ドル)であり、以上10カ国が年間GDP1千億ドルを超える国々である。UAE、カタール、クウェイトなど人口の少ない産油国がイラン、イラクなど地域の大国と遜色のないGDPを誇っている。

GDPが1千億ドル未満の国は、オマーン(600億ドル)、レバノン(520億ドル)、チュニジア(420億ドル)、ヨルダン(390億ドル)、リビア(390億ドル)、バハレーン(340億ドル)、イエメン(310億ドル)である。MENAでGDPが最も小さいバハレーン、イエメンはサウジアラビア或いはトルコの20分の1程度である。

(MENAで断トツのカタール！)

4. 2016年の一人当たりGDP(末尾表 1-B-2-10 参照)

日本の一人当たりGDPは37,304ドル、米国は57,294ドル、ドイツは42,326ドルである。米国は日本の1.5倍、ドイツは1.1倍である。また韓国は27,633ドルであり、米国の2分の1以下、日本の7割強である。BRICsと呼ばれる有力新興国のロシア、中国、インドはそれぞれ8,838ドル、8,261ドル、1,719ドルである。ロシアは前回(4月版)では中国を下回っていたが、今回は再度逆転している。インドは今年、来年と中国を上回る7.6%の高い成長率が見込まれているが、一人当たりGDPはまだまだ低く、中国の5分の1、日本の20分の1、米国の30分の1に過ぎない。



MENA 諸国の一人当たり GDP は各国間の格差が極めて大きい。LNG の輸出で潤うカタールの一人当たり GDP 60,733ドルは米国をしのぎ日本の1.6倍で世界のトップクラスである。MENA で一人当たり GDP が1万ドルを超える国はカタールのほか UAE(38,050ドル)、イスラエル(36,557ドル)、クウェイト(26,146

ドル)、バハレーン(24,119ドル)、サウジアラビア(19,922ドル)、オマーン(15,080ドル)およびレバノン(11,271ドル)の8か国である。

上位7か国のうちイスラエルを除く6か国は GCC 諸国であり、石油あるいは天然ガスの恩恵を受けていることがわかる。特に6か国の中で人口がバハレーンに次いで少ないカタールは他を大きく引き離している。GCC6か国の平均一人当たり GDP は30,675ドルに達する。

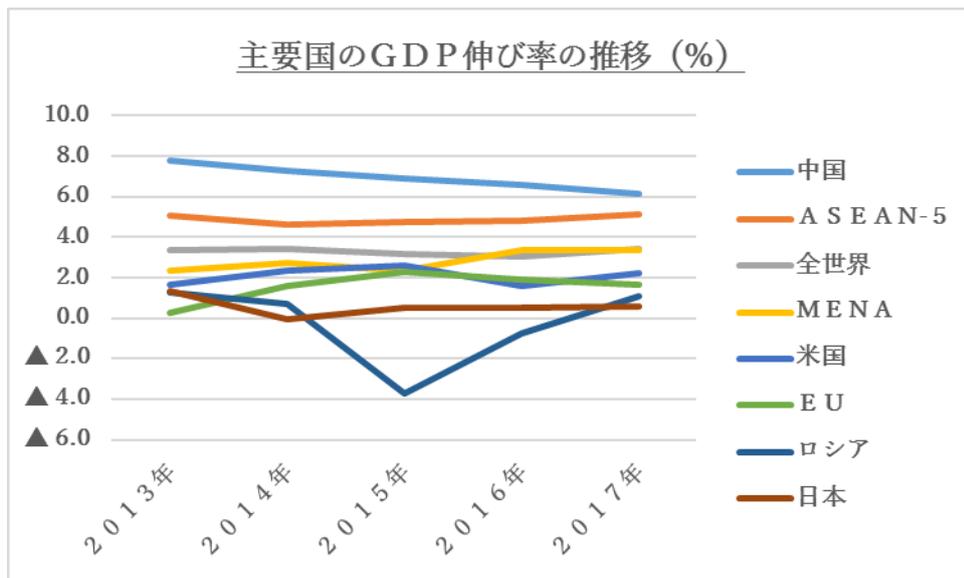
しかし同じ産油国でありながらリビア、イラン、イラク、アルジェリアなどは一人当たり GDP が5千ドル前後であり、GCC と大きな格差がある。MENA で最も貧しいのはイエメンであり同国の一人当たり GDP(1,075ドル)は実にカタールの60分の1にとどまっている。

なお一人当たりGDPは各国のGDP総額を人口数で割ったものであるが、IMF統計における計算の母数となる人口は特にGCC諸国の場合注意すべき点がある。例えばカタールの人口は約260万人で同国の一人当たりGDP60,733ドルは同国のGDP(1,570億ドル。前項参照)をその人数で割ったものである。しかし同国人口のうち80%以上は出稼ぎ労働者が占めており、カタール国籍を有する自国民は40万人足らずと言われる。通常、統計上の人口は国籍を有する者のみが対象で一時的な出稼ぎ労働者は含まないが、カタールの一人当たりGDPには出稼ぎ労働者も含まれており実態を正確には表していないと言える。このことは同じように外国人比率が高いUAE或いはクウェイトについても言えることであり、3分の1が外国人であるサウジアラビアの場合も程度の差はあれ同様である。

このような要素を加味してGDPを算出した統計は見当たらないが、カタール、UAE、クウェイトの実際の一人当たりGDPはIMF公表数値の数倍に達すると考えられ、これら湾岸産油国の一人当たりGDPが世界のトップクラスであることは間違いない。

(世界の平均伸び率は3%台前半で推移、低下し続ける中国！)

5. 世界および主要地域・国の GDP 成長率の推移(2013~2017年)(末尾表 1-B-211 参照)



(1)世界および主要な地域・国

2013年(実績)から2017年(予測)までの5年間の経済成長率の推移を見ると世界全体では3%台前半で推移しており今年(2017年)は3.1%、来年(2018年)は3.4%とみられている。

地域別で見ると2013年に5.1%の成長率を達成したASEAN-5か国はその後他の地域を大幅に上回り5%前後の安定した成長を続けている。産油国を多く抱えたMENA地域は石油価格の低迷により2013年から2015年までは2%台の成長にとどまっているが、今年および来年は3%以上の成長が見込まれている。

主要国では日本の成長率は2013年の1.4%から2014年にはマイナス成長に低下、その後の2015年、16年も0.5%の成長にとどまる。来年は今年より若干改善されると予測されているが(+0.6%)、先進国の中で低成長にあえいでいる。これに対して米国の経済は先進国の中でも特に好調であり5年間を通じて2%前後の成長を維持している。

中国は2013年および14年の成長率が7%台であったが、2015年以降は6%台に低下しており、5年間で見ると2013年の7.8%が2017年には6.2%と毎年成長率が鈍化している。これとは逆にインドは5年間で6.6%(2013年)→7.2%(2014年)→7.6%(2015年～2017年)と2015年には中国の成長率を上回ると共に5年間を通じて7%前後の高い成長を維持している。ロシアは2015年に3.7%のマイナス成長に陥り、今年もマイナス0.8%と見込まれ、来年漸くプラス成長(+1.1%)に転ずる見通しである。

(2)MENA諸国

MENAでGDPが最大のトルコは2013年の経済成長率が4.2%であった。その後成長率は鈍化した3%台の安定成長を維持している。世界最大の産油国でトルコに次ぐGDP大国であるサウジアラビアの5年間の成長率(実績・予想)は2.7%(13年)→3.6%(14年)→3.5%(15年)→1.2%(16年見込み)→2.0%(17年予想)であり、油価が急騰した2010年代前半のような大き

な伸びは期待できない。

サウジアラビアを含むGCC6か国の平均成長率も3.5%(13年)→3.1%(14年)→3.1%(15年)→2.1%(16年見込み)→2.5%(17年予想)と今年および来年の成長率は従来に比べてかなり低い水準になりそうである。同じ産油国でもイランは2013年の1.9%のマイナス成長から2014年以降はプラス成長に転じており、特に経済制裁解除後の今年および来年は4%以上の成長が見込まれている。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

MENAと世界主要国の GDP 実質成長率(2016-17年)

国名	2016年10月見通し(今回)			2016年4月見通し(前回)		前回/今回比較	
	2016年成長率(%)	2017年成長率(%)	増減	2016年成長率(%)	2017年成長率(%)	2016年成長率(%)	2017年成長率(%)
アルジェリア	3.6	2.9	▲ 0.7	3.4	2.9	0.2	▲ 0.0
バーレーン	2.1	1.8	▲ 0.3	2.2	2.0	▲ 0.1	▲ 0.2
エジプト	3.8	4.0	0.1	3.3	4.3	0.6	▲ 0.3
イラン	4.5	4.1	▲ 0.4	4.0	3.7	0.5	0.3
イラク	10.3	0.5	▲ 9.8	7.2	3.3	3.1	▲ 2.8
イスラエル	2.8	3.0	0.2	2.8	3.0	▲ 0.1	▲ 0.1
ヨルダン	2.8	3.3	0.5	3.2	3.7	▲ 0.5	▲ 0.5
クウェイト	2.5	2.6	0.1	2.4	2.6	0.1	0.0
レバノン	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0	0.0	0.0
リビア	▲ 3.3	13.7	17.0	▲ 2.0	12.2	▲ 1.3	1.5
モロッコ	1.8	4.8	2.9	2.3	4.1	▲ 0.4	0.7
オマーン	1.8	2.6	0.8	1.8	1.7	▲ 0.0	0.9
カタール	2.6	3.4	0.7	3.4	3.4	▲ 0.8	▲ 0.1
サウジアラビア	1.2	2.0	0.8	1.2	1.9	▲ 0.0	0.1
シリア	n/a	n/a	-	n/a	n/a	-	-
チュニジア	1.5	2.8	1.3	2.0	3.0	▲ 0.5	▲ 0.2
トルコ	3.3	3.0	▲ 0.3	3.8	3.4	▲ 0.5	▲ 0.5
UAE	2.3	2.5	0.2	2.4	2.6	▲ 0.1	▲ 0.1
イエメン	▲ 4.2	12.6	16.8	0.7	11.9	▲ 4.9	0.7
(GCC6カ国平均)	2.1	2.5	0.4	2.2	2.4	▲ 0.1	0.1
全世界	3.1	3.4	0.4	3.2	3.5	▲ 0.1	▲ 0.1
EU	1.9	1.7	▲ 0.2	1.5	1.6	0.4	0.1
ASEAN-5	4.8	5.1	0.3	4.8	5.1	0.1	0.0
MENA	3.4	3.4	▲ 0.0	3.1	3.5	0.3	▲ 0.1
日本	0.5	0.6	0.1	0.5	▲ 0.1	0.0	0.6
米国	1.6	2.2	0.6	2.4	2.5	▲ 0.8	▲ 0.3
ドイツ	1.7	1.4	▲ 0.3	1.5	1.6	0.3	▲ 0.2
ロシア	▲ 0.8	1.1	1.8	▲ 1.8	0.8	1.1	0.3
中国	6.6	6.2	▲ 0.4	6.5	6.2	0.1	▲ 0.0
インド	7.6	7.6	▲ 0.0	7.5	7.5	0.2	0.1
韓国	2.7	3.0	0.3	2.7	2.9	0.1	0.2

2016年 GDP at Current Price(2016年10月値)

順位		国名	10億ドル	%
1	Turkey	トルコ	736	21.2%
2	Saudi Arabia	サウジアラビア	638	18.3%
3	Iran	イラン	412	11.9%
4	UAE	UAE	375	10.8%
5	Israel	イスラエル	312	9.0%
6	Algeria	アルジェリア	178	5.1%
7	Qatar	カタール	157	4.5%
8	Iraq	イラク	156	4.5%
9	Kuwait	クウェイト	110	3.2%
10	Morocco	モロッコ	105	3.0%
11	Oman	オマーン	60	1.7%
12	Lebanon	レバノン	52	1.5%
13	Tunisia	チュニジア	42	1.2%
14	Jordan	ヨルダン	39	1.1%
15	Libya	リビア	39	1.1%
16	Bahrain	バーレーン	34	1.0%
17	Yemen	イエメン	31	0.9%
	Egypt	エジプト	n/a	n/a
	Syria	シリア	n/a	n/a
		合計	3,477	100.0%
		(GCC6カ国合計)	1,373	39.5%
		全世界	75,213	100.0%
		EU	16,519	22.0%
		ASEAN-5	2,146	2.9%
		MENA	3,162	4.2%
		日本	4,730	6.3%
		米国	18,562	24.7%
		ドイツ	3,495	4.6%
		ロシア	1,268	1.7%
		中国	11,392	15.1%
		インド	2,251	3.0%
		韓国	1,404	1.9%

2016年一人当たりGDP(2016年10月値)

順位		国名	USDドル
1	Qatar	カタール	60,733
2	UAE	UAE	38,050
3	Israel	イスラエル	36,557
4	Kuwait	クウェイト	26,146
5	Bahrain	バーレーン	24,119
6	Saudi Arabia	サウジアラビア	19,922
7	Oman	オマーン	15,080
8	Lebanon	レバノン	11,271
9	Turkey	トルコ	9,317
10	Libya	リビア	6,169
11	Iran	イラン	5,124
12	Jordan	ヨルダン	5,092
13	Iraq	イラク	4,334
14	Algeria	アルジェリア	4,129
15	Tunisia	チュニジア	3,777
16	Morocco	モロッコ	3,101
17	Yemen	イエメン	1,075
	Egypt	エジプト	n/a
	Syria	シリア	n/a
		GCC6カ国平均	30,675
		日本	37,304
		米国	57,294
		ドイツ	42,326
		ロシア	8,838
		中国	8,261
		インド	1,719
		韓国	27,633

GDP 対前年伸び率(%、2016年10月値)

—	国名	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
Algeria	アルジェリア	2.8	3.8	3.9	3.6	2.9
Bahrain	バーレーン	5.4	4.4	2.9	2.1	1.8
Egypt	エジプト	2.1	2.2	4.2	3.8	4.0
Iran	イラン	▲ 1.9	4.3	0.4	4.5	4.1
Iraq	イラク	7.6	▲ 0.4	▲ 2.4	10.3	0.5
Israel	イスラエル	4.4	3.2	2.5	2.8	3.0
Jordan	ヨルダン	2.8	3.1	2.4	2.8	3.3
Kuwait	クウェイト	0.4	0.6	1.1	2.5	2.6
Lebanon	レバノン	2.5	2.0	1.0	1.0	2.0
Libya	リビア	▲ 13.6	▲ 24.0	▲ 6.4	▲ 3.3	13.7
Morocco	モロッコ	4.5	2.6	4.5	1.8	4.8
Oman	オマーン	3.2	2.9	3.3	1.8	2.6
Qatar	カタール	4.6	4.0	3.7	2.6	3.4
Saudi Arabia	サウジアラビア	2.7	3.6	3.5	1.2	2.0
Syria	シリア	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a
Tunisia	チュニジア	2.4	2.3	0.8	1.5	2.8
Turkey	トルコ	4.2	3.0	4.0	3.3	3.0
UAE	UAE	4.7	3.1	4.0	2.3	2.5
Yemen	イエメン	4.8	▲ 0.2	▲ 28.1	▲ 4.2	12.6
	(GCC6カ国平均)	3.5	3.1	3.1	2.1	2.5
	全世界	3.3	3.4	3.2	3.1	3.4
	EU	0.3	1.6	2.3	1.9	1.7
	ASEAN-5	5.1	4.6	4.8	4.8	5.1
	MENA	2.4	2.7	2.3	3.4	3.4
	日本	1.4	▲ 0.0	0.5	0.5	0.6
	米国	1.7	2.4	2.6	1.6	2.2
	ドイツ	0.6	1.6	1.5	1.7	1.4
	ロシア	1.3	0.7	▲ 3.7	▲ 0.8	1.1
	中国	7.8	7.3	6.9	6.6	6.2
	インド	6.6	7.2	7.6	7.6	7.6
	韓国	2.9	3.3	2.6	2.7	3.0